

「徳島県吉野川河口域の自然と開発事業」

フィールドシンポジウム

＜日時＞ 9月26日（土曜日）14:00～17:00

＜場所＞ 徳島大学工業会館・メモリアルホール

＜参加費＞ 無料

＜申し込み＞ 不要

＜内容＞

「阿波しらさぎ大橋の建設に伴う生態系アセスメントとモニタリング」

鎌田 磨人（徳島大学大学院）

「河口部への代償的人工海浜の創出は成功したのか？」

大田 直友（阿南工業高等専門学校）

「吉野川河口の貴重性とその保全活動」

井口 利枝子（とくしま自然観察の会）

総合討論

和田 恵次（奈良女子大学研究院）

＜開催趣旨＞

徳島市の市中にひろがる吉野川の河口域は、都市部にありながら、広大な汽水域を擁し、今日本から失われつつある強内湾系の生物種が豊富に生息する貴重な湿地である。今この河口域に、道路増設による橋の建設や港湾整備のための海浜埋立てといった人為改変が進行している。貴重な河口域生態系は、一連の人為改変事業から守ることができるのか。近年完成した阿波しらさぎ大橋の建設に対する環境影響評価と、河口部の人工海浜事業の成否を議論し、徳島の自然を守る市民活動の観点を取り入れながら、吉野川河口域の保全のあり方を探りたい。

＜主催＞ 徳島大学環境防災研究センター
関西自然保護機構

＜共催＞ 日本生態学会近畿地区会

＜問い合わせ先＞

関西自然保護機構事務局

E-mail : konc@mus-nh.city.osaka.jp

TEL : 06-6697-6262

FAX : 06-6697-6306